

大田高校 人権だより

<1学期の人権教育HR活動報告>

1年生は、「アサーティブな対応」をテーマに、日常でよくある場面を用いて「相手の立場を尊重しつつ、自分の意見も主張する」にはどうすればよいか、考えました。コロナウイルス感染予防としてグループワークはできませんでしたが、ワークシートを見せ合うなどして意見交換を図りました。以下は生徒の感想の一部です。

一番難しかったのは、自分の気持ちをどうやって消化できるかでした。相手に強く言いすぎても自分が我慢しても良い結果にならないことがわかるので、自分の気持ちをどれだけ消化して伝えられるかが大切だなと思いました。***僕は、これまで、相手の悪いところを言っても相手の性格が変わるわけではないし、自分が変わるしかないと思っていました。今日の活動で、言い方に寄っては、言うべきことをしっかり相手に伝えることもできるんだなと思いました。***相手に優しくすぎたせいで自分が損をした苦い経験は何度もあるので、相手のことと自分のことをバランス良く考えることが大切だと感じました。***今日のような対応方法を考えてみると、無駄にストレスをためることなく、相手に反省をもらえるからすごくいいなと思いました。***似たような内容でも、言い方によっては相手の受け取り方も変わるので、思ったこと、感じたことをそのまま口に出すのではなく、こう言われたら自分はどう受け取るか、また、他の意味に受け取られることはないか考えてから発言しようと思いました。



(1年生活動の様子)

3年生は、「就職差別について考える」をテーマに、現在の「統一応募用紙(履歴書)」が作られた背景や、就職差別をしないための事業所や学校での取り組みを紹介しました。一人一人がありのまま認められる社会になるよう、私達が差別の芽に

「気づく」、そして差別をなくすために「行動する」ことの大切さを学んでほしいと思っています。以下は生徒の感想の一部です。

自分は就職を希望しているので、友達よりも早く就職活動をするため、しっかりと知識を身につけ、対応できるようにしようと思いました。また、大田高校も差別が起きたときにはしっかり対応してくれることが分かったので、安心して就職活動をしようと思います。***自分のすぐ近くでいろいろな差別が起こっているのは知っているつもりだったけど、就職にも差別があったんだと思うと衝撃でした。今は昔より差別に対して少し敏感な社会になりつつあるけど、見えない部分でまだ差別が残っていると思うと少し悲しくなりました。気づかぬうちに人を差別的に見ていたり、差別しているような言動をしないように気をつけたいと思いました。***就職をする上で大切なことは人柄や志望理由なので、家族のことを書く必要はないと思いました。実際に島根県でも事例があるのを知ることができたし、もし私が就職差別を受けそうになったら、今日習ったような対応をしたいと思いました。



(3年生活動および教職員研修の様子)

<教職員人権・同和教育ミニ研修>

今年は授業づくりの専門家、各界のクリエイターが参加し、学校や家庭、地域で活用できる無料教材を開発、公開するChangers(チェンジャーズ)というサイトの教材を利用しました。悩みを抱える生徒に対して、「クラスで話し合いをする」「この生徒が相談できる場所(人)の確保」など、教職員が「自分ごと」として積極的に関わり方を探し、意見交換しました。

発行 令和4年7月28日
大田高等学校 図書・人権・同和教育部